

# キュービクル盤概略寸法表

参考値

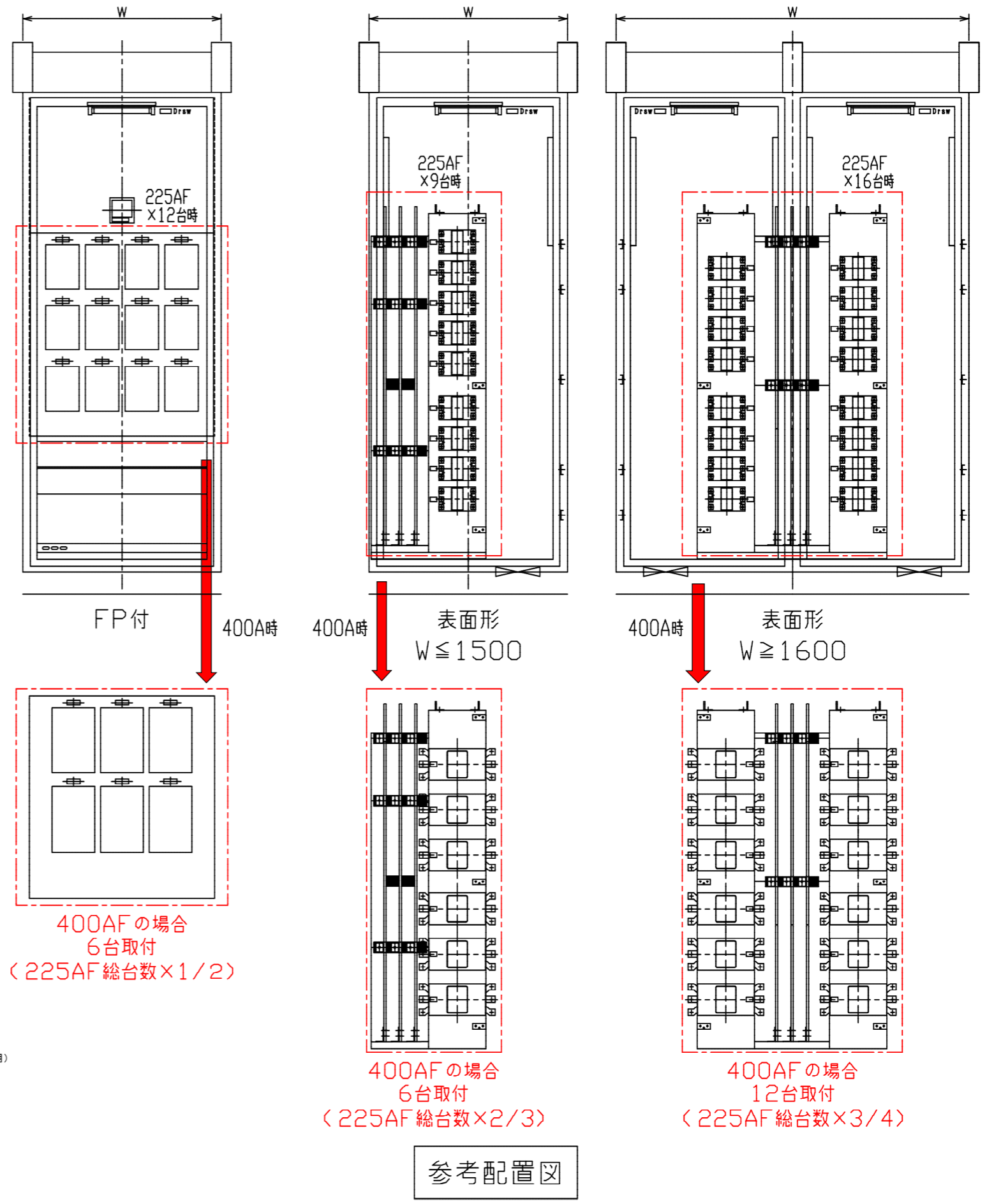
	高圧盤				ブレーカ盤			
	FF形		一般形		FF形			
	盤幅(mm)	奥行(mm)	重量(kg)	備考	盤幅	奥行	重量	
高圧引込盤	VCT含引込付	1000	1000	600	VCT収納	900	1800	800
高圧受電盤	VCT含引込付	1200	1100	600	VCB*1(12.5)	900	1800	800
高圧饋電盤		1200	1100	700	VCB*2(12.5)	900	1800	800
高圧コンデンサ盤	SC,SR 設備容量200k	900	1000	800	1セット	900	1800	1600

※FF形のTR盤D寸法はTR(Y)+500になります。

モールド変圧器メーカー最大寸法		TR発熱量		盤寸法		油変圧器メーカー最大寸法		TR発熱量		盤寸法		
単相	X(幅)	Y(奥)	Z(高)	重量(kg)	(W)	換気扇台数	W	D	H	kg	(台)	
10	495	500	759	215	145	φ300x1台	900	2000	2300	1300	12	9
20	495	500	759	215	375	φ300x1台	900	2000	2300	1300	12	9
30	530	500	827	290	534	φ300x1台	1000	2000	2300	1400	12	9
50	565	550	830	355	820	φ300x1台	1000	2000	2300	1500	12	9
75	630	550	907	420	1170	φ300x1台	1100	2000	2300	1600	15	9
100	640	550	907	470	1510	φ300x1台	1100	2000	2300	1700	15	9
150	660	575	1120	645	2135	φ300x1台	1100	2000	2300	1900	15	9
200	750	580	1190	815	2570	φ300x1台	1200	2000	2300	2100	15	9
300	815	595	1305	1015	3375	φ300x1台	1300+α	2100	2300	2400	18	9
500	910	770	1528	1610	4750	φ300x2台	1400+α	2200	2300	3200	18	9
三相(200V)	X(幅)	Y(奥)	Z(高)	重量(kg)	(W)	換気扇台数	W	D	H	kg	(台)	
20	724	450	753	325	310	φ300x1台	1200	1900	2300	1500	15	9
30	724	450	753	325	552	φ300x1台	1200	1900	2300	1500	15	9
50	724	450	753	325	1340	φ300x1台	1200	1900	2300	1500	15	9
75	860	500	820	555	1535	φ300x1台	1300	2000	2300	1900	18	9
100	910	500	820	615	1950	φ300x1台	1400	2000	2300	2000	18	9
150	965	550	1055	760	2600	φ300x1台	1400	2000	2300	2100	18	9
200	1020	560	1075	915	2850	φ300x1台	1500	2000	2300	2400	21	9
300	1145	585	1175	1315	3990	φ300x1台	1600+α	2000	2300	2800	21	16
500	1250	625	1330	1745	5680	φ300x2台	1700+α	2100	2300	3400	24	16
750	1320	820	1508	2480	7260	φ350x3台	1800+α	2300	2300	4300	24	16
1000	1360	825	1580	3110	9200	φ350x4台	2600※	2300	2300	5100	33	25
1500	1750	1000	1890	5230	11820	φ350x4台	3000※	2500	2300+900	7200	45	25
2000	2440	1120	2145	7500	14450	φ350x9台	3700※	2600	2300+1100	9800	48	25
三相(400V)	X(幅)	Y(奥)	Z(高)	重量(kg)	(W)	換気扇台数	W	D	H	kg	(台)	
75	860	535	820	555	1750	φ300x1台	1300	2000	2300	1900	18	9
100	910	530	835	615	2055	φ300x1台	1400	2000	2300	2000	18	9
150	965	575	1040	810	2630	φ300x1台	1400	2000	2300	2200	18	9
200	1020	580	1040	995	3100	φ300x1台	1500	2000	2300	2500	21	9
300	1145	585	1175	1315	4200	φ300x1台	1600+α	2000	2300	2800	21	16
500	1250	625	1350	1745	6125	φ300x2台	1700+α	2100	2300	3400	24	16
750	1320	820	1508	2470	7365	φ350x3台	1800+α	2300	2300	4300	24	16
1000	1360	825	1545	3110	8870	φ350x4台	2600※	2300	2300	5100	33	25
1500	1750	1000	1890	5360	11930	φ350x4台	3000※	2500	2300+900	7300	45	25
2000	2440	1055	2120	7450	14390	φ350x9台	3700※	2500	2300+1100	9700	48	25

【備考】1.TR発熱量は各メーカーの負荷損、無負荷損の最大値を採用。  
 2.換気扇台数は屋外盤で周囲温度31℃(JISA-T1016:2019)、負荷率100%にて選定。  
 3.変圧器情報 ダイヘン:TOP ECOII(2023.10月) 三菱-Rシリーズ トップランナー-2014(2023.6月) 東芝-NFシリーズ トップランナー-2014(2022.6月) 富士-FM-T14(2023.4月) 日立-Super7モルファスZero Cシリーズ(2023.4月) ダイヘン:TOP ECOII(2023.7月) 三菱-Rシリーズ トップランナー-2014(2023.9月) 東芝-Sシリーズ トップランナー-2014(2022.6月) 富士-FHG-S(2022.9月) 日立-Super7モルファスZero MCシリーズ(2023.3月)  
 4.盤H寸法は2300mmを基本とするが、3φ1500k、2000kは上部に変圧器二次側銅帯収納用のダクトを設置する。  
 5.※・・・3φ1000k以上の盤は、TR盤+LBS収納盤(W=800)の合計  
 6.増加α寸法  
 ①抵抗付き負荷閉器収納時(300k以上対象) α=1φ300k:800mm α=1φ500k:800mm α=3φ300k:800mm α=3φ500k:800mm α=3φ750k:800mm  
 備考:1000k以上の場合、LBS収納盤に収納するので上表寸法で収納可  
 α=1φ300k:200mm α=1φ500k:600mm α=3φ300k:0mm α=3φ500k:200mm α=3φ750k:800mm  
 備考:上記以外の変圧器は、上表寸法で収納可  
 ②防振スプリング4.0Hz設置時(全容量対象)  
 ③抵抗付き負荷閉器収納時+防振スプリング4.0Hz設置時は、①抵抗付き負荷閉器収納時を採用する。  
 ④オイルパンを使用した場合上記の寸法にD+400mm見込む。

2011/8/1,12/9/27訂正.2015/1/23,16/4/19,16/9/21,16/10/20,17/2/9見直し  
 2020/3/9変圧器特性を最新版に見直し及び換気扇台数追加. 2021/2/16見直し  
 2022/9/22作業スペース及び変圧器寸法見直し.2023/11/20変圧器寸法見直し



参考配置図

## 9 設備診断の実施時期と保守点検周期および更新推奨時期

診断推奨時期は更新推奨時期の5年前としているが、精密点検時期に合わせるなど配慮が必要です。

設備区分	機器名称	普通点検周期 (年)	精密点検周期 (年)	診断実施 推奨時期 (年)	更新推奨時期 (年)	使用者の平均 更新期待年数 *1、*2 (年)
特高 受変電設備	GIS	1～3	6	20	25	28.0
	C-GIS	1～3	6	20	25	28.0
	断路器	1～3	6	15	20	27.1
	真空遮断器	1～3	6	15	20	25.5
	ガス遮断器	1～3	6	15	20	25.7
	油入計器用変成器	1～3	6	15	20	26.5
	避雷器	1～3	6	15	20	25.8
	油入変圧器	1～3	6	20	25	27.6
	ガス絶縁変圧器	1～3	6	20	25	—
	気中スイッチギヤ	1	6	15	20	—
高圧 受変電設備	断路器	1～3	6	15	20	25.2
	真空遮断器	1～3	6	15	20	25.5
	ガス遮断器	1～3	6	15	20	26.8
	モールド計器用変成器	1～3	6	12	15	26.3
	避雷器	1～3	—	12	15	—
	油入変圧器	1～3	6	15	20	27.6
	気中スイッチギヤ	1	6	15	20	25.8
配電設備	断路器、遮断器 計器用変成器	1～3	6	高圧受電設備 に同じ	高圧受電設備 に同じ	高圧受電設備 に同じ
	負荷開閉器	1	2 * 3	—	屋内15 屋外10	屋内24.9
	ACB、MCCB	1	6	6～12	15	—
	電磁接触器	1～3	6	12	15	真空25.5
	限流ヒューズ	1	—	6～12	屋内15 屋外10	16.2
	電力用コンデンサ(高圧)	1	3	12	15	23.2
	油入変圧器	1～3	6	15	20	27.6
	モールド変圧器	1～3	6	15	20	27.1
監視・ 保護設備	監視盤	1	6	15	20	—
	デジタル形保護継電器	1～3	6	12	15	18.2
特高 受変電設備	以下の機器については生産中止機種につき、他機種へ更新されることをおすすめします					
	油遮断器	1～3	6	15	20	26.1
高圧 受変電設備	空気遮断器	1～3	6	15	20	26.0
	油遮断器	1～3	6	15	20	26.1
配電設備	磁気遮断器	1～3	6	15	20	—
	乾式変圧器	1～3	6	15	20	26.9
監視・ 保護設備	誘導形保護継電器	1～3	6	15	20	23.9

- \* 1 一般社団法人日本電機工業会「受変電設備の保全に関するアンケート調査」報告書 平成15年3月
- \* 2 使用者の平均更新期待年数は更新までの平均期待稼働年数
- \* 3 分解をとまなわれない点検
- \* 4 更新推奨時期の詳細については巻末「関係資料の紹介」に記載されているJEM-TRをご参照下さい